「福岡“思いのたけ”タイムズ」　福岡県議会議員　岳　康宏　2017/06/01

Fukuoka Omoinotake Times

Vol.4　FUKUOKA, THURSDAY, JUNE 1, 2017
@2017 Fukuoka Omoinotake Times

CHECK IT OUT!

福岡県議会議員　たけ康宏

厚生労働環境常任委員会
副委員長を拝命

私も、皆様のおかげで初当選してから、早いもので2年の年月が経過し、任期4年の折り返しを迎えました。そして、平成29年5月22日（月）、福岡県議会臨時会があり、私は、この度、厚生労働環境常任委員会 副委員長を拝命いたしました。誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。これからも更に日夜研鑽努力いたしますので、今後とも引き続きよろしくご指導ご鞭撻賜りますようお願いいたします。

【平成29年度福岡県予算案事業概要】春吉交番が移転、新築されます。

2016年1月9日に何者かが福岡市中央区春吉にあった暴力団事務所に火炎瓶を投げ込む事件が起きました。その後、素早く、福岡県暴力追放運動推進センターは周辺住民に代わって使用差し止めを求める仮処分を福岡地裁に申し立て、地域住民の皆様と福岡県警、中央警察署の力強い連携により九州初で仮処分が認められるまでに至りました。仮処分が認められたことにより事務所は使えなくなり、即日組事務所は解体されました。

代理訴訟は、国家公安委員会から「適格団体」と認められた暴追センターが、住民の委託を受けて使用差し止め請求訴訟の原告になる制度で、暴力団に向き合う住民の不安を和らげ、提訴しやすくする狙いがあります。

これにより、平成29年度当初予算の中で、暴追センターが住民の費用負担なしに行う事務所使用差止請求代理訴訟に対する助成として「暴力団事務所撤去促進費」500万円が内示されました。また、城南（仮称）警察署建設調査費がついたことも画期的ですが、交番8か所、駐在所2か所の改築費として4億5249万2千円の予算がつきました。

その交番改築費のひとつが「春吉」交番です。

2017年（平成29年）4月21日　金曜日　西日本新聞

暴追"象徴"の交番誕生へ
元組事務所の近くに
福岡市・春吉 年度内に移転

福岡市役所　国体道路　春吉交番　移転予定地　那珂川　キャナルシティ博多　西鉄福岡（天神）駅　住吉通り

福岡中央署の春吉交番が本年度内に、福岡市中央区春吉3丁目から2丁目へ移転する。移転先は暴力団の対立抗争で昨年、火炎瓶が投げ込まれた組事務所跡地のそば。この事務所を暴力団追放運動で撤去に追い込み、約2千人分の署名を集めて交番移転を求めた地域住民たちは「新たな安全安心の拠点、暴追のシンボルにもなる」と歓迎する。

現交番は1982年に開設。飲食店が集まる春吉大通り沿いにある。敷地が手狭なこともあり、10年ほど前から「もっと広くて目立つ場所に移してほしい」と住民の要望が寄せられていた。

春吉2丁目では昨年1月、対立抗争で指定暴力団山口組系一道会の組事務所に火炎瓶が投げ込まれる事件が発生。近くに小学校もあるだけに住民らは暴追運動を展開し、組事務所近くに交番の移転を求める署名活動も始めた。

昨年7月、住民は署名を県警と福岡市に提出し、事務所跡地に近い市有地（約130平方㍍）に交番を移すよう提案。市も要望を受け、土地を貸すことに同意した。組事務所は使用差し止め訴訟の結果、すでに解体されたが、以前から住民の要望が出ていたこともあり県警が移転を決めた。

移転する現在の春吉交番。来訪者が車を止めるスペースはない

新しい交番の場所は、昨年開通した市道渡辺通春吉線沿いで、春吉2丁目交差点の近く。署名集めに参加した住民の一人は「昔に比べて深夜営業の店が増え、遅くまで出歩く人も多い。パトカーが止まるだけで犯罪の抑止につながる」と期待した。

殿治田敬署長は「事務所の早期撤去は暴追運動の成果。現交番より目立つ場所にある新交番でも、住民の協力を得ながら治安維持に努めたい」と話している。（夕刊既報）

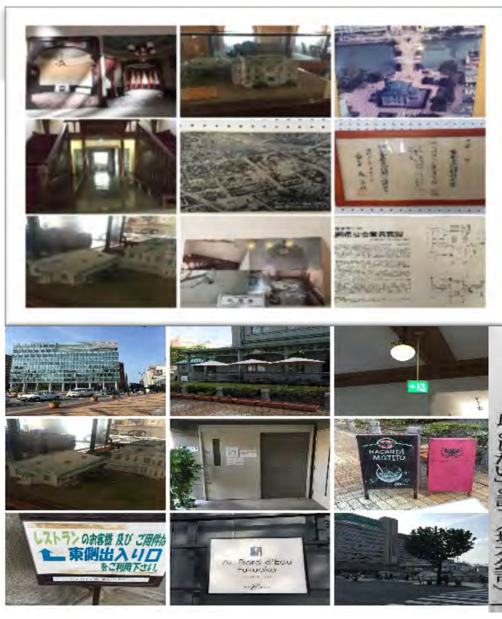
このように異例の速さで建て替えが実現できたのは、もちろん、駐車場スペースがなく、福岡市の土地に長年あったこと、地域環境の急速な変化もありましょうが、地域の皆様の熱意ある、安心・安全を望む粘り強い要望活動と福岡県警察への熱心な働きかけとそれに応える福岡県警察の熱意によるものと思います。

整備予定だった道路に面した公園用地を素早く行政と打ち合わせ、確保したことも大きいと思います。

これからも安心・安全な地域実現のため、地域と福岡県警察の連携を強め、福岡県警察の三大目標【①暴力団の壊滅②飲酒運転の撲滅③性犯罪の抑止】がいち早くクリアされることを望みます。

天神中央公園にある旧福岡県公会堂貴賓館周辺の活性化について

平成28年6月16日（木）福岡県議会6月定例会で、旧福岡県公会堂貴賓館の利活用について一般質問させていただきましたが、このほど、福岡県の2017年度当初予算案に旧福岡県公会堂貴賓館改装など周辺の活性化のための関連事業費として約1億7500万円を計上いただきました。このことは、西日本新聞 2017年（平成29年）2月11日（土）33面に「天神中央公園の貴賓館改装について」の記事が掲載されました。



天神中央公園にある旧福岡県公会堂貴賓館。周辺の活性化が計画されている（県教育委員会提供）

天神中央公園の貴賓館改装
重文を新名所へ 県が予算案

福岡県は新年度、国指定重要文化財の「旧福岡県公会堂貴賓館」がある天神中央公園（福岡市中央区）の活性化に乗り出す。貴賓館の内装工事をし、解説板も設けて「夜は暗く、怖い」ともいわれる周辺一帯を明るくする。飲食店も誘致し、都心の新たなにぎわい拠点としたい考えだ。

公園は福岡市・天神と歓楽街の中洲を結ぶ市役所東側に位置。県庁跡地を開発して1988年に開設、芝生広場や桜並木で知られる。明治期のフレンチルネサンス様式が特徴の貴賓館（10年完成）は老朽化が進んでおり、周辺は夜も人通りは多いものの明かりが少なく、安全面で懸念の声が出ていた。

2017年度当初予算案に関連事業費として約1億7500万円を計上。貴賓館は壁紙の改修などのほかバリアフリー化し、テラス席を広げて1階にカフェを設ける。調度品には多言語の解説掲示板を置き、レトロな内装を生かしたイベントも計画していく。公園内の電灯も改修・増設し、ライトアップも検討する。県幹部は「貴重な文化財の魅力を磨き、にぎわいづくりの一助としたい」と話す。（坂本公司）

公益社団法人福岡県医薬品配置協会との「見守りネットふくおか」協定締結式

福岡県では、各家庭を訪問する機会の多い事業者が、ひとり暮らし高齢者などの異変を察知した場合に市町村へ通報する「見守りネットふくおか」の活動取り組みの普及・拡大を図っており、これまでに１１の事業者との間で協定を締結してきました。

そして、平成29年４月１８日、福岡県は公益社団法人福岡県医薬品配置協会との間で１２番目となる「見守りネットふくおか」協定を締結しました。

締結式で、知事は「協定を締結することができ、大変うれしく、また心強く思っております。これからも福岡県民の皆さまが住み慣れた地域で安心して長く住むことができる地域社会を目指して頑張りたいと思います。協会の皆さまにはより一層のご協力をお願いします」とご挨拶なさいました。

福岡県議会議員　岳　康宏

「福岡“思いのたけ”タイムズ」

Fukuoka Omoinotake Times

2017/06/01

平成 29 年 2 月、タイ王国・バンコク都を訪問しました。

平成 29 年 2 月 19 日(日)から 23 日(木)は、タイ王国・バンコク都を初めて訪問いたしました。まず、プミポン国王陛下のご崩御に対する弔問のためバンコクの王宮を訪れました。また、２０２０年に開催される東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致のため、タイ王国のコープカン観光・スポーツ大臣と面談しました。そして、バンコク都議会、バンコク都知事を表敬訪問し、今後新たに取り組む「高齢者施策」分野での交流を盛り込んだ覚書の締結に立ち会い、最後に、タイ王国のドーン外務大臣を表敬訪問し、福岡県が九州・山口の中心的な役割を担っていること、青少年育成や環境など、さまざまな分野でタイ・バンコク都との交流が深まっていること、近年福岡へのタイ人観光客が急増していることを説明し、総領事館設置を働きかけました。

福岡県・ハワイ州姉妹提携３５周年記念事業に参加

平成 29 年 1 月 17 日～24 日、米国ハワイ州議会友好訪問団にて、ハワイ州議会上院・下院開会式等の視察並びにハワイ州議会との意見交換のため米国ハワイ州議会を訪問しました。

デーヴィッド・伊芸ハワイ州知事をはじめ、ロナルド・コウチ上院議長、ジョセフ・スウキ下院議長への表敬訪問をさせていただきました。

在ホノルル日本国総領事館と共催で、総領事公邸において福岡県とハワイ州の姉妹提携３５周年を記念したレセプション「福岡の夕べ」や「福岡フェア」「福岡県・ハワイ州姉妹提携３５周年記念式典・レセプション」「ハワイ福岡県人会創立６０周年記念式典」「ハワイ島福岡県人会創立５０周年記念式典」「コナ福岡県人会創立５０周年記念式典」など行事も盛りだくさんでしたが、観光やエネルギー政策などのハワイ州での取り組みについても意見交換でき、大変有意義な視察となりました。

平成 29 年２月議会で一般質問させていただきました。

平成 29 年３月８日（水）、平成 29 年 2 月福岡県議会定例会で、「農福連携について」と「ふくおか未来人材について～農業系の県立高校における GAP 取得の推進」を質問させていただきました。

昨年(2016 年)8 月 24 日、生涯健康安心社会調査特別委員会での管外視察で、北海道月形町を訪ねました。

つきがた農福交流推進協議会が進める農福連携は障害者受け入れ農家と農家で働く障害者がともに増えていて、農業側からも福祉側からも歓迎されているとのことでした。

そんな中、昨年(2016 年)12 月 12 日、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から「持続可能性に配慮した食材(農産物・畜産物・水産物)の調達基準について」案が示され、推奨される事項として①オーガニック(有機)食材、②農業と福祉が連携し障害者を雇用して生産される食材、③国際認証を得ている食材が優先的に使われることになるとのことです。つまり、農福連携によって、障害者の方々が主体的に作った食材が、東京オリンピック・パラリンピックに出場する選手の食べる食事として使われる可能性があるということになります。オリンピック期間中に必要な食材のうちどれだけの食材を日本の農産物で賄えるかが課題となっています。

せっかく日本で開かれるオリンピックですので、より多くの選手や外国人観光客に日本の食材の素晴らしさをアピールしたいですし、そのための準備は怠りなく進めたいものです。

そこで、知事にお尋ねします。まず、福岡県における農福連携の取り組みについて、現状はどのような取り組みがなされているのかお教えください。

問　農福連携の今後の取り組みについて

〇農福連携は、障害者の新しい職域を開拓し、自立と地域社会への参加を促進する上で、有効な取り組みであると考えている。

〇農業現場で障害者の雇用を進めるためには、障害者の特性に応じて対応可能な作業を選定するなどの配慮が必要である。

このため、県では、農業分野における障害者就労促進に向けたマニュアルを作成し、農業者からの相談に対応しているほか、障害者支援施設の関係者に対しては、全国の取組事例や専門家派遣などの支援策の説明会を実施し、農業参入への気運の醸成を図っているところである。

〇現在、東京オリンピック・パラリンピック大会の食材調達基準が検討されており、GAP の認証を取得した上で、障害者が主体的に携わって生産した農産物や畜産物は推奨される事項の一つに加わると聞いている。

このため、この食材調達基準の今後の動向を把握し、農業者はもとより、施設に対しても情報提供を行ってまいる。

〇また、来年度は新たに、施設への技術指導のための地元農業者の派遣や、生産物の農福連携マルシェの開催、障害者雇用に向けた農業者への研修会の実施などに取り組むこととしている。これらの取り組みを通じて、県内の農福連携の成功事例を創出してまいりたいと考えている。

農福連携 着々と拡大

月形町の推進協議会 2年目

障害者ら園芸作業

受け入れ、働き手共に歓迎

【平成 29 年度福岡県予算案事業概要】「地域医療介護総合確保基金事業」の「訪問歯科診療推進整備事業」について

平成 29 年 2 月 24 日(金)からは、福岡県議会平成 29 年 2 月定例会が始まりました。

予算委員会も含め 3 月 28 日まで続く長丁場でした。

さて、その平成 29 年度事業概要の中で、「地域医療介護総合確保基金事業」の「訪問歯科診療推進整備事業」のうち、新たに福岡市歯科医師会の事業として以下の予算が盛り込まれました。

①【新】在宅歯科口腔機能等評価法構築事業

（予算案の額：８，５５１千円）

②【新】在宅歯科同行訪問研修事業

（予算案の額：２，０９０千円）

①と②の合計額は、１０，６４１千円です。形式上は、福岡県歯科医師会の事業の位置づけになります。

なお、福岡市歯科医師会の当初の要求額は、

①が１３，２３５千円、②が２，０４１千円、

合計が１５，２７６千円でした。

これから高齢者が増え、人口減少社会を迎えるわが国では、地域医療における在宅医療の果たす役割が重要になってきます。つまり、病院ではなく、「かかりつけ」の医師や歯科医師が責任をもって地域包括ケアを実践し、在宅での診療を進めていかなければならなくなります。

そのために、今回は、全国的にも歯科医師が多い福岡市において訪問歯科診療における先進的な取組みを行うことで、歯科医師が多いことがかえって利点となり、訪問歯科診療をいとわない先生方が増えるような事業に取り組もうとなさっています。

つまり、地域医療の中で、地域包括ケアシステムをいかに構築していくのか、医療業界の方々は日夜研鑽努力なさりながら、「かかりつけ」の役割をいかに果たしていくかをお考えになっています。

私は、昨年の 12 月議会で「訪問歯科診療の充実のための取組みについて」一般質問をさせていただきました。

これからもしっかり福岡県歯科医師会様・福岡市歯科医師会様と連携して、いかに安心できる幸せな生活を過ごすことができるかを考えていきたいと思っています。

在宅歯科診療推進整備事業

在宅患者における要支援者に対し、口腔状態を把握し、固有口腔に関する口腔介護度の分類を確立、構築することにより在宅歯科診療の整備が行いやすい環境とすることが目的である。つまり、在宅患者の日常動作機能・認知機能を含めた患者自身の残存機能や治療協力への程度の評価や、罹患疾患や既往歴、服用中の薬剤、歯科治療上の留意点までを含めた評価を行い歯科医療機関とのマッチングを図り、訪問歯科診療を円滑かつ効率的に行う。

具体的には、在宅患者に関わる医療多職種や患者の家族でも理解できるような指標を別途作成することで、大まかな訪問先の患者の状態が一早く把握できることになり、治療に望む歯科医師側の対応や訪問器材の準備等がスムーズに行え、多くの在宅患者を支援できる無駄のない訪問歯科診療体制の確立に繋がる。

〔発行人〕福岡県議会議員　岳　康宏

〔連絡先〕福岡県議会議員 たけ康宏 事務所

〒810-0041 福岡市中央区大名 2-3-2-3F　Tel. 092-738-7381